

セキュリティそれは全員の仕事だ

2001年の同時多発テロ事件の後、米国の指導者達が「油断するな」と言う時は、米国民全員に語っているのである。化学プラントは、近隣地域に対して与える潜在的な衝撃の大きさや化学薬品の盗難を考えると、テロリストにとっての魅力的な標的となりうるということを知っている。このことが我々をセキュリティの最前線に置くことになる。警戒すればするほど疑惑の行動に焦点が当たりやすくなり、危害が発生する前に止めることができる機会が増えるのである。我々は反テロリズムの専門家ではないが、我々自身や会社や地域社会を守る為にできることは多いのである。



以下は、早見表である:

- ▶ 全ての会社には、セキュリティの方針や慣行がある—それらを理解させ実行させること。従業員バッジを着けさせ、同僚にも励行させること。「バッジ着用入所」する場合、自分の通行の後に他人を「直後通過」させないこと。駐車は許可された場所だけにすること。
- ▶ 周囲を点検して、プラントのセキュリティ上の潜在的な弱点にしっかりと目を見開くこと。何か違和感がないか、違ってないかよく見る。欠陥があれば、上司や安全部署に知らせること。
- ▶ プラントの緊急手順を精査すること—退避、緊急対応、他。
- ▶ 協力会社員や来訪者の受付書類に注意を払うこと。もし正しくないと思われる場合は、上司に知らせること。貨物輸送の新しい運転手には、特に気をつけること。
- ▶ 整理整頓は、操業する上で終わりのない部分である。プラントがきれいにしてある場合は、ものを隠す場所がほとんど存在しないし、小さな漏れも容易に検知されて、大きな危険要因になる前に清掃することが出来る。
- ▶ 入荷する積荷について適切な封印がなされているかどうかをチェックすること。もし封印が欠けている場合は、然るべき人に通知すること。積荷が汚れていたり、指定地に着く道中で中身が盗まれているかもしれない。
- ▶ すべての荷物があなたの部門の手順通りに取り扱われていることを確認すること—特に、通常の受取時間外に到着するものに対して注意をはらうこと。
- ▶ 社外の人間に開示する情報に注意すること。多くの秘密情報が、それらに過度に興味を持っている人間に漏洩する可能性がある。それらの人たちの一部は、信頼できそうなプラント管理者や他の人たちの名前を利用するだろう。

怪しい電話は、全て上司に報告すること。9/11事件に伴い幾つかの化学プラントには、運転状況について詮索するような怪しげな電話があった。何か違うかと気付いたら、質問することをためらってはいけない。我々は皆、後悔するよりも安全でありたい。

最近は大変な時代である。過去の慣行や手順は、テロリストの攻撃によって引き起こされる新しい懸念にはもはや対処できないかもしれない。アメリカは、まさにあなたのような人々の注意と決断によって、今までもこのような挑戦に対峙してきた。しっかりと目を開き、もし何かが正しくないと思われるときは—質問すること！